

事業名 : 人もコウノトリも住める地域づくり

団体名 : Toyooka AgRestart

## 1 事業内容

日時 6月3日、11日 / 9月9、16、17日、10月15日

場所 出石町水上区、但東町西谷区

内容 田植え交流会、稲刈り交流会、期間を通じた里山再生

### 【事業経過】

月 日	実施内容	場 所	参加人数
6/3	企画会議	団体事務所	4人
6/3	田植え交流会	出石町水上区	16人
6/11	田植え交流会	但東町西谷区	13人
6/24	企画会議	団体事務所	3人
7/2	生き物調査	出石町水上区	11人
9/9	稲刈り交流会	出石町水上区	12人
9/16	稲刈り交流会	出石町水上区	8人
9/17	稲刈り交流会	出石町水上区	6人
9/18	企画会議	団体事務所	5人
10/7	農産物販売・消費者交流	団体倉庫	13人
10/14	〃	〃	9人
10/15	稲刈り交流会	但東町西谷区	9人
10/27	地域おむすび交流会	小坂コミュニティ	34人
11/14	海外研修員視察対応	出石町水上区	21人
11/23	出張 農村 RMO の取組み視察	石川県七尾市、輪島市	1人
11/25	里山再生(防獣支柱撤去、あぜ道整備、資材庫 整理手伝い)	但東町西谷区	4人
12/8	農地活用計画 復田後の農地を地域農会を通じ地権者へ返納	団体事務所	3人

## 2 事業の効果

### (1) 団体（組織）内の効果

- ・里山再生について実践的立場から考える機会となった。
- ・地域住民との対話を通じて、団体内で分野情報の知識を深めることができた。
- ・団体内の役割分担が明確になり、組織力が向上した（特に地域住民からの問合せへの対応について）
- ・中山間地における里山や農業への関わりについて深く学ぶことができ、今後取組みの指標が明確になった。
- ・専業農家と兼業農家が取り組む農業について、切り分けて考える必要があることがわかった。

### (2) 地域への波及

- ・耕作放棄地の解消につながった（耕作放棄地 60a→0）
- ・地域農業の担い手が増えた（耕作放棄者6名のうち2名が次期策に取り組むこととなった）
- ・世代間交流が活性化するきっかけとなった（知恵と技術の伝承）

- ・地域住民の交流が実現（移住世帯も含めた交流機会）
- ・地域住民が話し合いの機会を通じて、地域の将来を考えるきっかけとなった。

### 3 協働の相手方

一華書道会：看板の製作、同会主催の作品交流展で農産物販売及び取組 PR で連携

芸術文化専門職大学 学生グループ：田植え交流イベント、ビオトープ補修作業等を通じた地域交流事業の拡大で連携

兵庫県但馬県民局：コウノトリ育む農法の拡大及びビオトープ設置による米の食味、収量、生態系の実証調査で連携

豊岡市：里山再生取組み、ビオトープ拡大で連携

### 4 今後の課題等

#### (1) 団体（組織）活動を継続するための工夫等

- ・団体の取組みへの共感者を増やし、メンバーを確保する。
- ・メンバーを確保し、一般社団法人化することにより、認定農業者として様々な制度を活用したり、企業や他団体との事業連携（契約）等につなげ、経営の安定化につなげる。
- ・メンバーの会費、イベント参加者の参加費、農産物の販売収益向上、法人化による様々な支援制度活用、作業受託や里山再生、地域づくりに感じする助言事業などについて契約し安定的な収入源を確保する。
- ・活動内容や実績の周知につとめ、サポーターを増やす。

#### (2) 地域活動を拡大していくための工夫等

- ・活動内容や実績の周知につとめ、理解者、協力者、参画者を増やす。
- ・他団体との事業連携を増やし、当団体だけではリーチすることのできない分野へも活動領域を広げ地域活動の輪を拡大する。
- ・活動実績を増やして全国的な表彰制度に応募し、受賞による認知度向上を目指す。こうした動きを通じて全国的な地域活動団体とネットワークを構築し相互に高みを目指していく。



5年6月3日 田植え交流イベント



5年6月6日 耕作放棄地の開墾



5年6月19日 地域住民との意見交換(里山再生)



5年9月17日 稲刈り交流会